

ある 階段 の物語

作 アントニオ・ブエロ・パリエッホ
翻訳 野々山真輝帆
演出 田中麻衣子

2017.10.28 SAT - 31 TUE

美術 松井るみ
照明 齋藤茂男
音響 黒野 尚
衣裳 西原梨恵
ヘアメイク 片山昌子
演出助手 神野真理亜
舞台監督 川田康二

演劇研修所長 宮田慶子
主催 文化庁、新国立劇場



[ある階段の物語]

2015年入所の第11期生が8月の朗読劇『ひめゆり』の公演を経て、いよいよ新国立劇場小劇場での試演会に臨みます。作品は、スペインのフランコ体制下で獄中生活を送り、検閲を受けながら演劇活動を続けた劇作家アントニオ・ブエロ・バリエッホの『ある階段の物語』。日本ではほとんど上演機会のない作家ですが、今作はスペインの演劇史上、新しい時代への移行となる重要な作品と位置づけられています。内戦直後のマドリッド、階段のあるアパートに住む庶民たちが希望を抱きながら、荒廃した生活に抗いつつ生きていく様子を写實的に描いた物語です。1期生より演劇研究所公演に携わってきた田中麻衣子の演出で、研修生活3年目を迎えた11期生による新しい挑戦にご期待ください。

[Historia de una escalera]

-ものがたり-

内戦直後のマドリッド、階段のある安アパート。住人たちは金持ちのドン・マヌエルと娘のエルビラ以外、中産階級下層に属している。エルビラは二つ隣に住む文房具店の店員フェルナンドと結婚したいと思っているが、彼は三つ隣のカルミーナと愛し合っている。隣人の、工場で働くウルバーノもまた、カルミーナを愛している。ウルバーノは貧乏な労働者が団結し、組合に入って協力するべきだと主張し、フェルナンドは一人で戦い、自分だけで貧乏を抜け出してみせると言い返す。そして、時は流れて……。

新国立劇場演劇研究所 第11期生



川澄透子



金聖香



佐藤和



篠原初実



高嶋柚衣



田淵詩乃



泉千恵
6期修了生



生地遊人



小比類巻諒介



椎名一浩



上西佑樹



バルテシュタイン永岡玲央



山田健人

[公演日程]

2017年 10月
28(土) 18:00
29(日) 13:00/18:00
30(月) 14:00/19:00
31(火) 14:00
開場は開演の30分前です。

[チケット料金 (税込)]

A席 3,240円 B席 2,700円

学生券 1,000円 Z席 1,620円

※Z席は公演当日、ボックスオフィスのみで販売。

- アトレ会員・各種割引はありません。
- 各発売日初日枚数制限はありません。
- 車いすをご利用のお客様はボックスオフィスまでお問い合わせください。
- 就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
- 学生券はボックスオフィス窓口・電話にて受け付けます。
- お引き取りの際には学生証または年齢を確認できるものが必要です。

[チケット取り扱い]

新国立劇場ボックスオフィス

03-5352-9999

(10:00~18:00)

Webボックスオフィス

<http://pia.jp/nntt/>



webボックスオフィス

チケットぴあ

0570-02-9999 (Pコード 480-625)

<http://pia.jp/t/>

アトレ会員先行発売期間

9月1日(金)~9月10日(日)

一般発売日

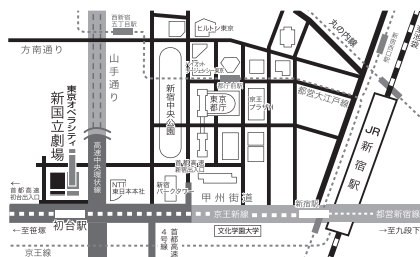
9月12日(火)~

NNTドラマスタジオ 研修所長 | 宮田慶子

新国立劇場演劇研究所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強度のある身体をそなえた次世代の演劇を担う舞台俳優を育成しています。3年間の研修期間では、俳優としての基礎的な訓練を行うと共に、年次を追って様々な演劇のメソッドや考え方を学んでいきます。その上で緻密なテキスト分析を元にしたシーンスタディを経て、3年次には舞台実習を行います。

<http://www.nntt.jac.go.jp/play/training/>

★演劇研修所 Facebook ページもチェック!!



新国立劇場

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1

TEL.03-5351-3011 (代)

京王新線(都営新宿線乗入)初台駅中央口直結

KEIO NEW LINE, HATSUDAI STATION